

秋季青森県高校野球 あす開幕

工大一青森商と初戦

規模縮小、無観客

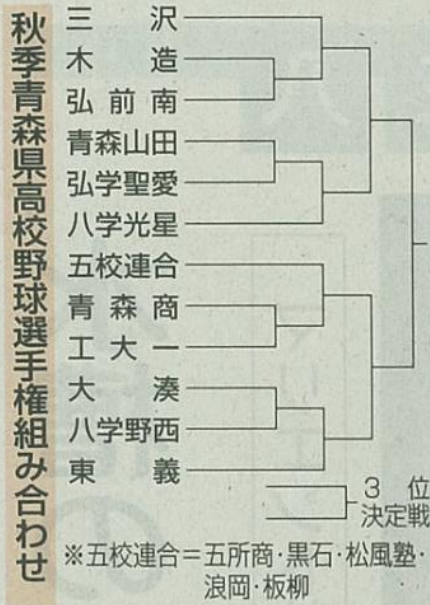
来春の選抜大会につながる秋季青森県高校野球選手権の組み合わせ抽選会が6日、オンライン形式で行われ、出場校の対戦相手が決まった。大会は8～12日に開催。各地区予選の通過校と今夏の県大会で優勝した弘学聖愛の計12チームが東北大会(20～26日・宮城県)への出場権3枠を懸け、熱戦を繰り広げる。今夏の青森県大会4強の工大一は1回戦で青森商と激突。同8強の八学光星は青森山田・弘学聖愛の今夏の決勝カードの勝者と準々決勝で対戦する。三沢は木造・弘前南

の勝者を準々決勝で迎え撃つ。八学野西は1回戦で大湊と戦う。

今大会は新型コロナウイルス感染症防止策として、県などが講じた9月中の部活動禁止措置に伴い、地区予選の終了が遅れた。

当初の予定では県大会の出場枠は、6地区の予選通過校など計22チームだったが、過密日程を避けるため大会規模を縮小し、12チームの参加とした。日程、会場は非公表とし、完全無観客で開催する。開会式も行わない。

6日は、青森地区と弘前地区で雨天順延となっていた地区予選の代表決定戦各1試合が行われ、青森商と弘前南が県大会への切符を手にした。(上村公悟)



12チームが東北大会(20～26日・宮城県)への出場権3枠を懸け、熱戦を繰り広げる。今夏の青森県大会4強の工大一は1回戦で青森商と激突。同8強の八学光星は青森山田・弘学聖愛の今夏の決勝カードの勝者と準々決勝で対戦する。三沢は木造・弘前南

の勝者を準々決勝で迎え撃つ。八学野西は1回戦で大湊と戦う。今大会は新型コロナウイルス感染症防止策として、県などが講じた9月中の部活動禁止措置に伴い、地区予選の終了が遅れた。当初の予定では県大会の出場枠は、6地区の予選通過校など計22チームだったが、過密日程を避けるため大会規模を縮小し、12チームの参加とした。日程、会場は非公表とし、完全無観客で開催する。開会式も行わない。6日は、青森地区と弘前地区で雨天順延となっていた地区予選の代表決定戦各